

エゾシロチョウ

野幌森林公園の当会担当区のシウリザクラの枝に白蝶が群がっていました。とりあえず撮影。2009年6月24日13時27分と記録されました。帰宅して拡大し、よくよく見ますと2組のペアが交尾している場面でした。

エゾシロチョウは白地に黒の翅脈がはっきりしていて、スジグロシロチョウと名前を交換した方が良いとかねがね思っています。この蝶の幼虫たちは、気持ち悪いほどの集団行動をいたします。卵もまとめて一か所に産み付けられ、孵化した毛虫状の幼虫たちは、食草のバラ科の樹木の新葉をたちまち食べつくしては次の枝に行列して移動し、また食べ尽くすという具合で、



たかられた枝は裸状態になって遠目にも判るほどです。食樹の枝に集団でとりついたまま蛹化し、

ほぼ一斉に羽化しますと、すぐに雌雄が交尾するのです。集団近親婚の様相でこれも異様な光景なのです。近親婚については筆者の観察なので、他の群れからみ蝶が飛来しているのかもしれませんが、確認は出来ていません。この集団羽化について「北海道昆虫同好会プログ」は5%が羽化不全で不全な個体は交尾をしない、と報告されていました。

分布は北海道、千島列島、サハリン、朝鮮半島北部とのこと。発生は5～6月、さらに2回目は7～9月とのこと。

同じ頃、豊平区の北海学園正門から豊平公園に向かう道路の街路樹のエゾノコリンゴに大発生しているのを確認したこともありました。



卵



幼虫



蛹



成虫